

No.1	事業名	議会インターネットライブ 中継への取組	24年度 予算額	736 千円	新規 拡大 継続
------	-----	------------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

現本庁舎2階の議場整備に併せ、市民に開かれた議会を目指すため、定例会、臨時会、全員協議会をインターネットでライブ中継を行う。

インターネットが視聴できる環境であれば、傍聴のため議場へ足を運ばず、家庭、職場等で議場のやり取りを視聴することができる。また、過去の録画も定例会や議員ごと等に検索のうえ視聴も可能であり、より広く市民に対し議会に関心を持っていただけることが期待できる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

議場のカメラ・マイクシステムから分配された映像をデジタルデータに変換して、業者の配信サーバに送信し、インターネット上でライブ中継、録画中継する。

運用は、24時間365日とする。

(2) 事業期間

平成24年度 現本庁舎工事に併せ、設置準備

平成25年度 6月議会からインターネット配信予定

(3) 事業主体

豊岡市議会事務局

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

初期導入年度 736千円

年間維持管理費用 1,862千円

3 24年度予算

(1) 予算額

736千円

(2) 事業内容

- ・ 初期導入費用 720千円
- ・ テスト配信費用 16千円

担当課名【議会事務局】（内線2615）

施策体系番号9-9-9

No.2	事業名 男女共同参画プランの推進	24年度 予算額	1,434 千円	新規 拡大 継続
------	------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

第2次豊岡市男女共同参画プラン（計画年度：平成24～28年度）に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて推進する。

2 事業概要

(1) 内 容

第2次豊岡市男女共同参画プランの推進事業実施

(2) 事業期間

平成24年度～

(3) 事業主体

豊岡市



▲一時保育

3 24年度予算

(1) 予算額

1,434 千円

(2) 事業内容

- ①市民や有識者で組織する懇話会の設置（新規）
- ②モデル地区の設置（新規）
3地区で実施予定
- ③男女共同参画セミナー開催
- ④一時保育 など



▲豊岡市女性消防隊



▲パパと遊ぼうデー

担当課名【秘書広報課】（内線 2061）

施策体系番号 6-2-2

No.3 事業名 定住自立圏構想の推進	24年度 予算額	402 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

総務省が全国 243 の中心市を対象に定住自立圏構想を推進しており、本市においては、平成 23 年 3 月 24 日に中心市宣言を行った。

平成 24 年度において、但馬区域及び豊岡区域のそれぞれで連携事業を検討する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

圏域共生ビジョンの検討

(2) 事業期間

平成 24 年度～平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約 1,438 千円

3 24 年度予算

(1) 予算額

402 千円

(2) 事業内容

圏域共生ビジョン懇談会の設置

協定、形成方針に記載した連携する取組みを検討し、共生ビジョンを策定または変更するにあたり、圏域共生ビジョン懇談会を設置する。

担当課名【政策調整課】（内線 2081）

施策体系番号 6-3-3

No.4	事業名 但馬空港周辺用地の買戻し	24年度 予算額	1,809,000 千円	新規 拡大 継続
------	------------------	-------------	--------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

空港周辺用地を木質バイオマス活用モデルとして、「里山林の適正整備・保全」、「木質バイオマス活用」、「林業従事者の育成」の3つの基本方針とした「空港周辺里山ふれあいの森」構想に基づき整備を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

平成24年度 土地開発公社から用地取得 約202ha
測量設計委託業務
平成25年度 工事着工
平成26年度 年度末完成

(2) 事業期間

平成23年度～平成26年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約1,900,000千円（合併特例債1,805,000千円）

3 24年度予算

(1) 予算額

1,809,000千円

(2) 事業内容

平成24年度	土地開発公社から用地取得	約202ha	1,800,000千円
	測量設計委託業務		9,000千円
計			1,809,000千円

担当課名【政策調整課】（内線2081）

施策体系番号 2-1-1

No.5 事業名 情報戦略の推進	24年度 予算額	21,650 千円	新規 拡大 継続
------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡には、コウノトリも住める豊かな自然や環境づくりをはじめとし、環境と経済が共鳴するまちづくりなど、世界に誇る取組みがある。加えて、歴史、伝統、文化に培われた多くの資源がある。

人口減少が進み、市内経済が低迷する中で、市民が誇りを持ち、地域経済や地域社会の活性化を図るために、国内外に豊岡の情報を戦略的に発信する。特に首都圏での豊岡の知名度を向上させる。また、具体的な取組みを通じて、情報発信モデルを確立させ、職員の意識の向上を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 市外への情報発信の企画、調整及び推進
- ② 職員の情報発信力の向上

(2) 事業期間

平成21年5月から

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

21,650 千円

(2) 事業内容

① アンテナショップ

東京有楽町に開設したアンテナショップを拠点とし、市内製品の販売を通じて豊岡の魅力を戦略的に発信する。また、中島神社にちなんだお菓子フェスタなど、豊岡の魅力を発信するイベントを開催する。

② 大好き豊岡応援隊

昨年7月に豊岡のまちづくりを支援する「大好き豊岡応援隊」が発足した。現在隊員は33名。加えて2月には、応援隊の拡大やファン同士の交流を目的にフェイスブックページを開設した。定期的なページデザインの変更など、魅力向上を図る。

また、人と人のつながりを契機に隊員を拡大するために、市民や豊岡に縁のある人を紹介する情報誌「Toyooka Face」を発行する。

③ 情報発信イベント「第4回豊岡エキシビジョン」の開催

東京都内で主にマスコミを対象として実施し、市の施策、産業、食の魅力を伝える。

④ 職員の情報発信能力を高めるための研修を開催する。講師は、情報発信やマーケティングの第一線で活躍する人たち。

⑤ その他

竹野地域を紹介するプロモーション映像制作、マスコミ関係者への取材支援、情報発信ルートの開拓などを行う。

担当課名【エコバレー推進室】（内線 2091）

施策体系番号 3-1-1

No.6	事業名	豊岡版エコポイント制度 の導入	24年度 予算額	666 千円 (11,466)	新規 拡大 継続
------	-----	--------------------	-------------	-----------------------	----------------

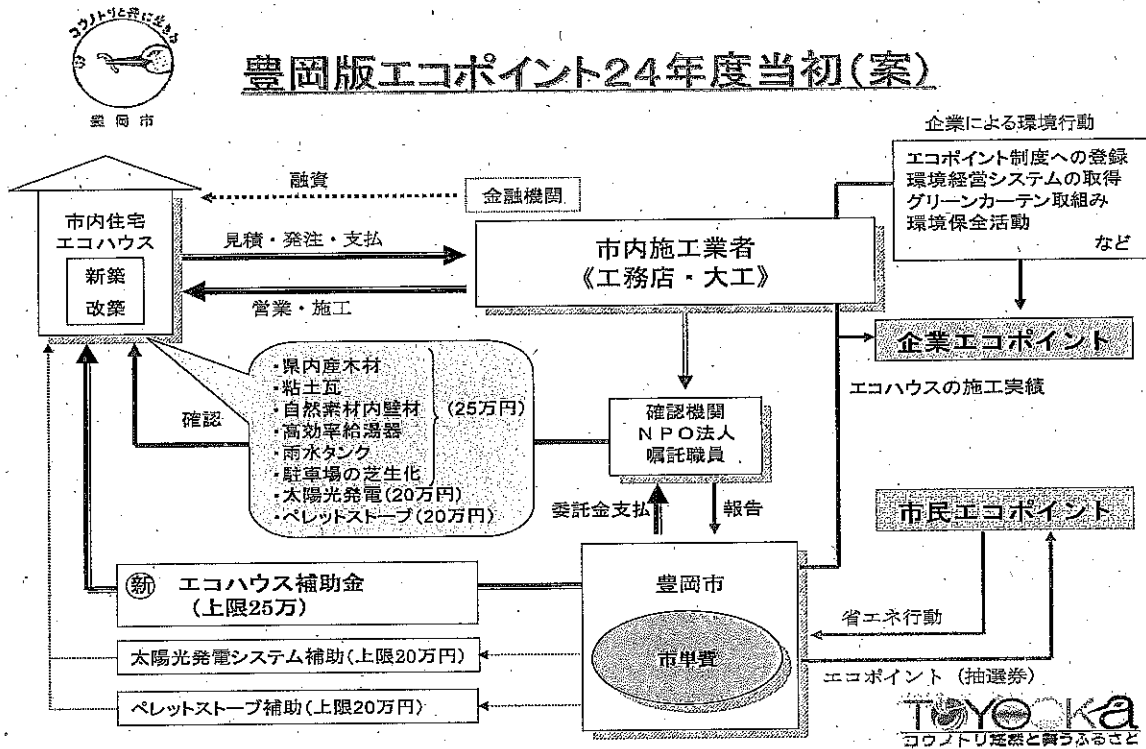
1 事業目的（趣旨）

環境都市「豊岡エコバレー」の実現に向け、全市的な運動へと展開させるための動機づけとして、豊岡版エコポイント制度を創設する。

市民、事業者がエコポイントを獲得することにより環境活動を促進させ、経済の域内循環を図るとともに、環境と経済の共鳴を一層加速させることを目的とする。

豊岡版エコポイント制度は、市民説明会、市内店舗への協力依頼等に準備期間を要するため、24年度7月頃を目途に発足させたい。

(イメージ図)



2 全体の事業内容

(1) 内容

- ① 企業エコポイント
- ② 市民エコポイント
- ③ エコハウス補助金

(2) 事業期間 (3カ年の予定)

24年度～26年度 (3カ年の予定)

(3) 事業主体 豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

11,466千円

(うちエコハウス補助金 10,000千円、審査業務・相談業務 800千円)

(2) 事業内容

①企業エコポイント（平成 24 年度は、市内エコハウス施工業者〈工務店・大工〉が対象）

- ア エコハウスの新築、改築工事を施工した市内事業者にポイントを付与
- イ 事業所でCSR活動による環境保全活動、環境経営システムの取得等エコな取り組みをした場合ポイントを付与

＜取得後は＞

- ・事業所が電気自動車購入、ペレットストーブ設置等省エネ、創エネ設備等の導入、改修等をする場合に、取得したポイントに応じて次年度以降、「エコバレー協力金」を支給

②市民エコポイント

エコポイント券（抽選券）の付与対象案

対象行動(案)	エコポイント券付与枚数(案)
太陽光発電システムの導入	10 枚
ペレットストーブ購入	10 枚
エコハウス新築・リフォーム	10 枚
電気代節約	1 枚
エコ通勤等の環境行動	1 枚
コウノトリの舞ブランド商品購入	1 枚
※付与対象行動については今後も増やしていく予定	
※各行動に対するエコポイント券の付与枚数は今後詳細を検討	

＜取得後は＞

- ア イベントに合わせ、エコポイント券 10 枚で参加できる抽選会を実施（平成 24 年度の抽選会は、下半期 2～3 回の予定）
- イ 当選した場合、環境商品（市内企業からも提供）と引換えできる。

③エコハウス補助金

- ア 豊岡版エコポイント制度普及と合わせて、豊岡版エコハウスモデルプランに基づくエコハウスの普及促進を図る。
- イ エコハウスを新築、リフォームした場合、補助金を受けることができる。同時に施主には市民エコポイントが、施工した市内大工・工務店等には企業エコポイントが付与される。
- ウ 新築・リフォームの場合、豊岡版エコハウスモデルプランに例示する部材を使用又は創エネ設備等を設置した場合、エコハウス補助金を交付する。
- エ エコハウス補助金対象商品と金額

補助対象商品	補助金額
県内産木材	120,000 円
瓦（粘土瓦）	30,000 円
自然素材を用いた内壁材（土・漆喰・珪藻土）	80,000 円
庭の芝生化（車の駐車スペース）	5,000 円
高効率給湯機器	10,000 円
雨水タンク	5,000 円

<参考>

国の住宅エコポイント対象商品

対象商品	エコポイント
太陽熱温水器	20,000 P
高性能断熱材	
外壁	100,000 P
屋根・天井	30,000 P
床	50,000 P
二重サッシ・高断熱ガラス	2,000～18,000 P
節水型トイレ	20,000 P
高断熱浴槽	20,000 P

※1 ポイント=1円相当

※市の補助対象商品と国土交通省の住宅エコポイント対象商品と合わせて整備した場合に補助金交付対象とする。県内産木材の使用と合わせて太陽光又はペレットストーブを整備した場合、「豊岡版エコハウス認証住宅」とする。

担当課名【エコバレー推進室】（内線 2091）
【建築住宅課】（内線 2462）

施策体系番号 2-1-2

No.7	事業名	豊岡版エコハウスモデルプランの普及啓発	24年度 予算額	355 千円 (10,355)	新規 拡大 継続
------	-----	---------------------	-------------	-----------------------	----------------

1. 事業目的（趣旨）

本市では、平成21年度に整備した「豊岡市エコハウス」の性能検証結果や専門的な技術研修などを踏まえ、より豊岡の気候風土にマッチしたエコハウスを普及するため、豊岡版エコハウスモデルプランを作成した。

環境負荷の少ない住宅の普及によるエネルギーの効率利用と快適な生活のできる家づくりのヒントを市民の皆さんへ提案するとともに、地域経済が活性化しているまち「豊岡エコバレー」の実現を目指す。

2. 全体の事業内容

(1) 内 容

エコハウスの基本は、“環境に負荷をかけない方法で住宅を建てる”ことであり、豊岡版エコハウスモデル化にあたっては、「二酸化炭素排出量を50%削減する。」ことを目標とした「省エネ性能の確保」をはじめ、「建物工法の基本」、「自然エネルギーの活用」、「市内建築資材等の積極的活用」を基本的な考えとして、普及促進に努める。

(2) 事業期間

平成24年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3. 24年度予算

(1) 予算額

パンフレット作成、講演会 355 千円

エコハウス補助金 10,000 千円

(2) 事業内容

①市内建築業者（大工、工務店及び設計事務所等）を対象とした講演会及び説明会の開催

②助成制度の創設

担当課名【建築住宅課】（内線 2462）

施策体系番号 2-2-1

No.8	事業名	大規模太陽光発電所 メガソーラー発電所の整備	24年度 予算額	330,503 千円	新規 拡大 継続
------	-----	---------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

環境都市「豊岡エコバレー」のシンボルとして大規模太陽光発電所（メガソーラー発電所）を整備し、再生可能エネルギーの地産地消を進めるとともに、原発問題以降特に地域に求められているエネルギー利用の多様化に貢献する。

また、降雪や日照時間等、条件の不利な山陰地域、豊岡において太陽光の活用可能性について実証し、山間地域の未利用土地利用のモデルケースとする。

平成24年7月から導入される再生可能エネルギー全量買取制度を活用し、メガソーラー発電事業による売電収入を豊岡版エコポイント事業等、市の環境施策の財源とする仕組みをつくる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

日高町山宮地区グラウンドに大規模太陽光発電所を設置する。

- | | | | |
|---------------------------|-----|--|-------------------------|
| ①予定地 | 第1期 | 山宮グラウンド（駐車場含む） | 約 28,000 m ² |
| | 第2期 | 山宮スキー場跡地（最大利用面積） | 約 50,000 m ² |
| ②規 模 | 全体 | 1,000kW（1MW）程度 | |
| | 第1期 | 680kW程度（150W×4,536枚） | |
| | 第2期 | 320kW程度 | |
| ③想定年間発電量 | 第1期 | 618,000kWh 一般家庭約 200 軒分
（平均電気使用量年 3,000kWh とすると）参考：山宮区 105 世帯 | |
| | 第2期 | 290,000kWh（見込み） | |
| ④想定年間 CO ₂ 削減量 | 第1期 | 185 トン/年 | |
| | 第2期 | 87 トン/年 | |
| ⑤売電収入見込み | 第1期 | 21,000 千円/年 | |
| | 第2期 | 10,000 千円/年（見込み） | |
- （2期完成後は年間 31,000 千円ほどの売電収入が見込める）

(2) 事業期間

第1期 平成24年度（第2期工事着工は平成25年度以降の予定）

(3) 事業主体

豊岡市

（協 力） 株式会社 カネカ（設計・施工について事業を委託予定）

3 24年度予算

(1) 予算額

330,503 千円

(2) 事業内容

- ① 用地測量調査
- ② 太陽光発電設備設置
- ③ 現施設（トイレ）の改修、倉庫移転補償 等

担当課名【エコバレー推進室】（内線 2091）

施策体系番号 2-2-1